



学校だより

1月号
横浜市立桜台小学校
令和5年1月10日発行

新年に寄せて ～桜台小の宝～

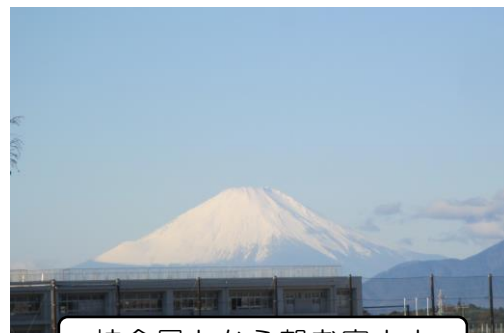
校長 小宮 健

2023年、令和5年が幕を開けました。

新年明けましておめでとうございます。

年始は冬晴れが続き、気持ちのよい一年のスタートになりました。身の引き締まるような荘厳な朝日や西の空を茜色に染める夕焼けを見つめながら、新年への期待が膨らんできました。

暦の関係で例年より長い17日間の冬休みが終わり、気持ち新たに登校してきた子供たちの笑顔と元気な声で今日から学校は活気に満ちあふれています。



校舎屋上から望む富士山

昨年はコロナ禍での対策を講じつつ、できる限り教育活動の実現に向けて取り組んでまいりました。皆様のご理解とご支援のおかげで、3年ぶりに4年生以上の宿泊行事をすべて実施することができました。また、子供たちが待ち望んでいた「さくらっ子フェスティバル」も開催されました。残念ながら飲食コーナーは見送られましたが、子供たちは大いに喜び、そのひと時を楽しんでいました。

厳寒の冬、酷暑の夏、雨の日も風の日も子供たちの安全のために登下校の安全を見守っていただいている学援隊、特別器楽クラブで音楽の楽しさを熱心に伝えていただいている地域指導者、読書活動の充実のために学校図書館の環境を整えていただいている図書ボランティア、子供たちの学習活動を丁寧にサポートしていただいている特別支援教育支援員、下校後や休日の子供たちの健全な育成にご尽力いただいている放課後キッズクラブや社会体育団体の方々——そして、子供たちの成長を温かく見守り、寄り添っていただいている保護者や地域の皆様へ、年頭にあたり改めて感謝申し上げます。桜台小の子供たちは本当に幸せです。

年末に地域にご挨拶に伺ったところ、学援隊の方から、

「子供たちはよく挨拶していますよ。『いつもありがとうございます!』と言ってくれる子もいます。子供たちから元気をもらっています」と仰っていただき、とてもうれしくなりました。

「桜台小の宝」はもちろん子供たちですが、その子供たちをたくさんの優しさと思いやりで包み込む皆様の存在（大人たちの力）も本校の強みであり、貴重な「桜台小の宝」だと実感しています。

話は変わりますが、昨年5月に桑田佳祐さんが同学年である4人（佐野元春さん、世良公則さん、Charさん、野口五郎さん）を迎えて急遽制作された『時代遅れのRock'n'Roll Band（作詞・作曲：桑田佳祐）』という楽曲がリリースされました。私はその曲を聴くたびに、『子供の命を全力で大人が守ること…それが自由という名の誇りさ♪』というフレーズに何故か感情移入してしまいます。

時代の流れを受け止めつつ、コロナ禍の向こう側にある「新しい景色」に希望を抱きながら、教職員一同、子供たちの命を全力で育ててまいります。

皆様、本年もどうぞよろしくお願いたします。